校長室から

ひがしなら通心

（Ｈ３０年度）　茨木市立東奈良小学校　川上　隆　Ｎｏ．３８

平成３０年１１月２６日（月）発行

ひ	とつにみんなでまとまろう！	あ	いさつができる子
が	くりょくと体力をのばそう！	い	っしょうけんめい勉強する子
し	っかりせいかつしよう！	う	んどうが好きな子
な	かよく友だちとすごそう！	え	がおでやさしい子
ら	んらん夢に向かう東奈良っ子！	お	そうじをがんばる子

さくらももこさん

「ちびまる子ちゃん」を作った人気漫画家のさくらももこさんが、今年の８月に５３歳でお亡くなりになりました。さくらさんは１９８４年、１９歳でデビューし、「ちびまる子ちゃん」は８６年、月刊誌で連載を開始し、昭和４９年に小学３年生だった自分をモデルに、まる子ちゃんとその家族、友だちとの日常生活をユーモアたっぷりに描きました。なので、みなさんのお父さんやお母さん世代の人が、共通の体験として記憶している小学生の頃が再現され、絶妙な笑いを誘います。９０年からテレビアニメが放映され、映画にもなり、人気を博しました。また、さくらさん自身が作詞した主題歌「踊るポンポコリン」は、９０年に大ヒットし、漫画の単行本はたくさん発行され、海外でも翻訳、出版されています。さらにエッセーも大ヒットしました。

さくらさんは、まる子のことを「ちょっと照れ屋で明るい性格で、基本的には真面目だけれど、面倒くさがりだったりするという、ごく普通の女の子」と話し、子ども目線の楽しい漫画を描き続けました。３年４組の児童は、まる子を含めて２７名で、担任が戸川先生です。クラスメートは個性的で、例えば花輪くん（本名：花輪和彦）は、大金持ちで優しい人で、「ヘイ、ベイビー」という声かけをする人です。ブー太郎（富田太郎）は、語尾にブーを付けます。気が小さくてのんびり屋で、妹の面倒見がいいです。山田くん（山田笑太）は、明るく、くよくよしない性格で、いつも「アハハ」と笑っています。野口さん（野口笑子）は、「くっくっくっ」と笑い、不思議な子です。

さくらさんはこの作品から、「みんな違ってみんないい」というメッセージを送っていると思います。いろいろなタイプの子がいるから、クラスは楽しいのです。みなさんも友だちの個性やいいところをたくさん見つけて、仲良くしてください。また、さくらさんは毎日、日記を書いていたそうです。みなさんもぜひ、日記を続けて書くことをお勧めします。

人権週間です

１２／４（火）～１２／１０（月）

今から７０年前の１９４８年１２月１０日に、国際連合で、世界中の人々が安心して幸せに暮らせるようにとの願いから「世界人権宣言」が採択されました。そしてこの日が「世界人権デー」と制定され、世界中で記念行事が行われます。日本では、この１２月１０日を最終日とする１週間を「人権週間」としています。今年度の「第７０回人権週間」では，啓発活動重点目標を「みんなで築こう　人権の世紀　～考えよう　相手の気持ち　未来へつなげよう　違いを認め合う心～」と定めています。

「人権」とは、人としての権利です。私たちは、自分の意思でこの世界に生まれてきたわけではありません。両親を選ぶことはできませんし、男として生まれてくるのか、女として生まれてくるのかを決めることもできません。

しかし、生まれてきた以上、私たちは皆必要とされているのです。なぜなら、同じ人間はいないからです。それは、一人ひとりの顔や性格が違うことでわかると思います。一人ひとり考えや作品がちがうことにも表れています。みなさん一人ひとりに、他の人にはない良さがあります。一生懸命作った作品それぞれに、違う良さがあります。みなさんは一人ひとりの良さを見つけていますか。ぜひ見つけるようにしましょう。そうすれば、一人ひとりが持っている人権というものが少しわかると思います。そしてこれから先、みなさん一人ひとりに人権があるからこそ、社会に必要とされるように生きなければならないことも覚えておいてほしいのです。

さて、私たちの身の回りを見たとき、友だちの人権を傷つけていることはありませんか。自分の人権が傷つけられていると思うときはありませんか。それを判断するには、自分がされてイヤなことかどうかを考えましょう。昔の人は、「己（おのれ）の欲（ほっ）せざること、人に施（ほどこ）すことなかれ」と言いました。自分がされてイヤなことを他人にしてはいけないということです。友だちにしていいこと、言ってはいけないことを、自分を基準にして考えてみましょう。担任の先生や他の先生方も人権について、わかりやすく教えてくださいますので、わからなければ聞いてみましょう。そして人権について考えてみましょう。